

科目ナンバー				科目名	Honors Meeting IV		
教員名	村山 賢哉			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	1
概要	本授業は、オナーズ・プログラムの一貫として開催されるクラスであり、1年生から4年生までのGlocal Honors生が一同に会し、それぞれの学びの深化を図ると共に、グローバル・リーダーとしての資質を、主に(1)各オナーズ演習での課題等を協働して取り組むこと、(2)各種テーマにつき学生が主体となった討論を行うこと、(3)学内外への発表・報告などの準備を上級生と下級生が互いに相互検討・精査しながら行うこと、によって身につけます。						
到達目標	オナーズミーティングⅣの到達目標は、(1)オナーズ演習Ⅳにおける課題を確実にこなしながら、履修者個々人の問題意識・問題関心を深めることができる、(2)上述(1)の過程において、異なる学年の学生たちとの学び合いを通して、関係を構築する力や協働する力を身につけることができる、(3)履修者個々人のグローバルオナーズ生としての目標を実現すべく、問題に対応する力(分析し、思考する力、構想し、実行する力、実践的スキル)をさらに磨くために、協働して課題発見・課題解決へ向けた学習に取り組むことができること、の3点です。						
「共愛12の力」との対応							
識見			自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力
共生のための知識	○		自己を理解する力		伝え合う力	○	分析し、思考する力
共生のための態度	○		自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力
グローバル・マインド	○		主体性		関係を構築する力	○	実践的スキル
教授法及び課題のフィードバック方法	本授業は、学生が主体的に演習の内容・中身を作り、自分たちで毎週のオナーズ・ミーティングを行うものです。グローバルオナーズ2年目となる本年は、上級生(主に村山課題ゼミ、西館課題ゼミの学生らから選抜)も加わり、進行や議論に参加します。						
アクティブラーニング	○		サービ斯拉ーニング			課題解決型学修	○
受講条件 前提科目	グローバル・オナーズ生であることが受講条件になります。						
アセスメントポリシー及び評価方法	オナーズミーティングにおける活動内容や学修状況、成果物を総合的に判断し、評価します。						
教材	オナーズ演習などを通して、随時指示します。						
参考図書	随時指示します。						
内容・スケジュール	講義期間を通して学年の垣根を越えて学びを深めていきます。学びの内容は以下の通りです。 ＜1年生との協働＞ オナーズ生1年生の海外研修プログラム作成に対して、1年目の経験を活かしたアドバイス・指導をしていきます。これにより自身が1年生で学んだ知識をより定着させます。 ＜課題対応＞ オナーズ演習Ⅳで課される課題を、上級生のアドバイスを受けながら取り組んでいきます。また、そこで得られた成果を講義時間の中で下級生に紹介する経験を通じて、コンテキストの異なる他者への適切なコミュニケーション方法も学んでいきます。						

Number		Subject	Honors Meeting IV		
Name	村山 賢哉 (Murayama Kenya)	Year and Semester	Second semester for 2020	Credits	1
Course outline	0	This class is part of Kyoai Glocal Honors. Honors students will deepen mutual learning while working together.			